

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2018年41週 (10月2週 10/8~10/14)

2018年9月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

◇トピックス

インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、麻しん・風しん

◇病原体検出情報

◇定点医療機関コメント

RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、インフルエンザ、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌感染症等

◇全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(16)、腸管出血性大腸菌感染症(4)、A型肝炎(1)、デング熱(1)、レジオネラ症(8)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(2)、梅毒(11)、百日咳(19)、風しん(10)、麻しん(1)

◇2018年9月報

◇定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆インフルエンザ

41週の定点当たり報告数は0.08、40週51人→41週16人です。2018/2019シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH1pdm09)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (図1)

41週の定点当たり報告数は1.09、40週182人→41週198人(1.09倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

◆麻しん・風しん (10月17日現在、診断日集計) (図2)

愛知県の2018年麻しんの報告数は35件(うち8月1件、9月4件、10月4件)、2017年総報告数は1件でした。全国の2018年40週までの累積報告数は223件です(2017年総報告数は189件)。

愛知県の2018年風しんの報告数は73件(うち8月9件、9月44件、10月17件)、2017年総報告数は3件でした。全国の2018年40週までの累積報告数は1,103件です(2017年総報告数は93件)。

【参考ページ】愛知県で風しんの患者数が増加しています!

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000061106.html>

名古屋市:市内における風しんの発生状況(10月12日更新)

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000038345.html>

風しんの届出数の増加が認められる5都県における風しん対策について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/dl/181003_1.pdf

風しんの届出数の増加が認められる5都県における産科医療機関と連携した風しん対策について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/dl/181003_3.pdf

本県における麻しん・風しん患者発生報告状況(2018)

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2018.html

疾患別ウイルス検出状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html

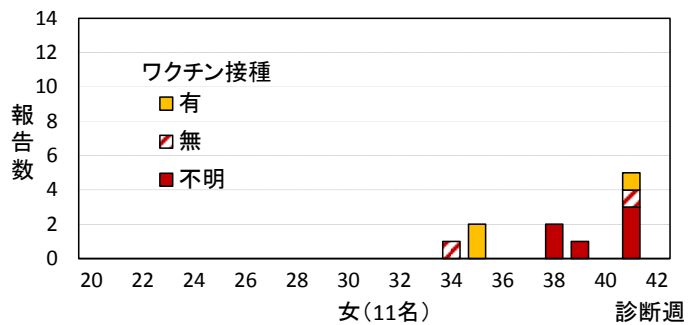
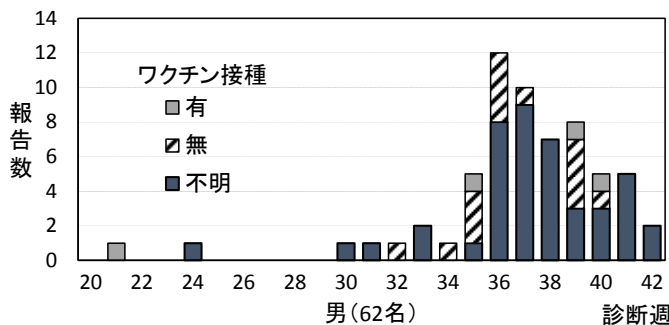
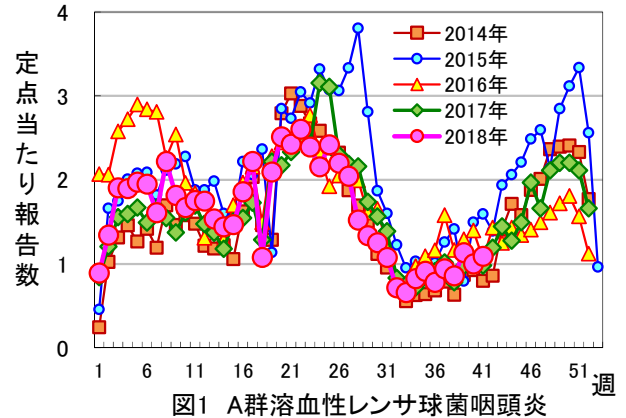


図2 2018年愛知県の風しん男女別・週別報告数及びワクチン接種の状況 (2018年10月17日現在、診断週別)

病原体検出情報 —2018年疾患別ウイルス検出速報— (2018年10月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ		**麻しん・風しん
								2018/2019 シーズン	2017/2018 シーズン	
患者数	200	36	29	9	3	23	11	14	573	62(113)
CV-A2	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-
CV-A4	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
CV-A6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
EV-71	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
CV-B1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0(2)
CV-B2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CV-B3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
CV-B4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3(3)
CV-B5	1	-	1	-	-	1	-	-	-	0(2)
CV-B6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
E-3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
E-6	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1(0)
HRV	-	1	-	-	-	-	-	-	1	5(9)
HPeV-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
HPeV-3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	7	77	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	-	179	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	-	223	1(1)
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 [#] (5)
HMPV	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
RUBV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6(19 ^{\$})
Reo-2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GI	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	57	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV-1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	5	-	-	5	-	-	-	-	1	1(0)
Ad-3	-	-	-	2	1	-	-	-	-	1(0)
Ad-5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-54	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-NT [†]	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
B19V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)
検査中	53	22	19	2	0	14	4	7	3	11(17)
陰性	37	7	3	0	0	7	6	0	69	31(53)

*インフルエンザは2018/2019(2018年9月～)及び2017/2018シーズンの結果

**麻しん・風しんの()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

#: ワクチン株1名 \$: ワクチン株1名 †NT: 未型別

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、
E: エコーウイルス、EV: エンテロウイルス、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、
FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、
FluB(山形): 同(山形系統)、HMPV: ヒトメタニューモウイルス、HPeV: ヒトパレコウイルス、HRV: ライノウイルス、
MeV: 麻しんウイルス、NV: ノロウイルス、Reo: レオウイルス、Rota A: ロタウイルスA、RUBV: 風しんウイルス、
SV: サボウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- 先週分から14歳女 腸炎カンピロバクター検出
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- 1歳男 アデノウイルス感染症
【一宮市 後藤小児科医院】
- 溶連菌 9名
RS 7名
A型インフル 1名(小1)
【扶桑町 医療法人tsukushi つくしこどもクリニック】
- 溶連菌感染症やや増加しています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- RS 続いています。
ヘルパンギーナが散発
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 26歳男 カンピロバクター及び
病原大腸菌O25 検出
【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

- 目立った感染症はありません。
【日進市 みやがわクリニック】
- ヘルパンギーナ、溶連菌感染症散発
連休後の割には落ち着いた1週間でした。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- 咽頭結膜熱 70歳以上女1人
【長久手市 医療法人スズムラ眼科医院】
- インフルエンザ陽性報告なし
ヘルパンギーナ及び夏カゼは少しあります。
ロタが出始めました。RSVは多いままです。
【春日井市 春日井市民病院】
- RS ウイルス 3例
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- 溶連菌感染が増加しました。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- 感染性胃腸炎 散発
【南知多町 医療法人大岩医院】
- 溶連菌感染症 3名
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- RS ウイルス感染症 3名(11か月、2歳、3歳)
水痘 1名(1歳、ワクチン未接種)
【東海市 もしもしこどもクリニック】
- インフルエンザA型 1名
【東海市 公立西知多総合病院】

西三河地区

- マイコプラズマ LAMP 法(+) 14歳男
RSV(+) 4か月女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- 3か月女 hMPV(+)
【岡崎市 にいのみ小児科】
- ヒトメタニューモ 10か月女
カンピロバクター 8歳女
RS ウイルス依然多く5例
ヘルパンギーナが増加してきました。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- 4歳女 A型インフルエンザ感染症
RSV 感染症、ヘルパンギーナ罹患例散見されます。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- インフルエンザA型 1名
【みよし市 みよし市民病院】

東三河地区

- 病原性大腸菌O125 4歳女
【豊川市 ささき小児科】
- インフルエンザA型 1名
【豊川市 豊川市民病院】
- カンピロバクター 1名
マイコプラズマ 1名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2018年10月17日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun180501.pdf>

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2018年41週報告数			2018年総計(1～41週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	6	1	1	440	112	108
豊田市				54	10	13
豊橋市	1		1	66	7	37
岡崎市				39	9	11
一宮	2		1	95	25	31
瀬戸				81	15	30
半田				49	16	16
春日井	3	1	1	80	12	24
豊川				31	7	10
津島				73	15	10
西尾				19	1	3
江南	1	1		34	7	6
新城				3		2
知多	2		1	44	16	8
清須				27	9	11
衣浦東部	1		1	60	8	19
合計	16	3	6	1,195	269	339

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	一宮	34歳	男	-/-	10/11	10/12	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者
2	瀬戸	33歳	女	10/5	10/9	10/9	O157、VT2(+)
3	半田	2歳	女	-/-	10/5	10/9	O157、VT1(+) VT2(+) 無症状病原体保有者
4	知多	61歳	男	-/-	10/4	10/9	O157、VT1(+) VT2(+) 無症状病原体保有者

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● **A型肝炎（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	豊田市	48歳	男	不明	不明

● **デング熱（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	33歳	男	デング熱	バングラデシュ

● **レジオネラ症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	65歳	男	肺炎型	国内
2	豊田市	72歳	男	肺炎型	国内
3	豊田市	85歳	男	肺炎型	国内
4	豊橋市	82歳	女	肺炎型	国内
5	豊橋市	74歳	男	肺炎型	国内
6	豊川	73歳	男	肺炎型	国内
7	津島	73歳	男	肺炎型	不明
8	江南	65歳	男	肺炎型	国内

● **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	春日井	70歳	男	医療器具関連感染	国内	無

● **劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	一宮	63歳	女	国内

● **侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	4歳	男	有	国内

● **侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	0歳	女	有	国内
2	岡崎市	29歳	男	無	国内

● **梅毒（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	24歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	56歳	男	早期顕症	性的接触	中華人民共和国
3	名古屋市	33歳	男	早期顕症	性的接触	アメリカ合衆国
4	豊田市	35歳	男	無症候	性的接触	国内
5	豊橋市	42歳	男	無症候	性的接触	国内
6	一宮	30歳	男	早期顕症	性的接触	国内
7	瀬戸	20歳	女	無症候	性的接触	国内
8	半田	43歳	男	早期顕症	性的接触	国内
9	半田	60歳	男	早期顕症	性的接触	国内
10	津島	57歳	男	無症候	性的接触	不明
11	清須	35歳	男	早期顕症	性的接触	国内

● 百日咳（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	11歳	男	有（追加接種有）	国内
2	名古屋市	22歳	女	不明	国内
3	名古屋市	36歳	男	不明	国内
4	名古屋市	17歳	女	有（3回）	国内
5	名古屋市	28歳	女	有（1回）	国内
6	名古屋市	56歳	男	不明	流行有（職場）
7	名古屋市	16歳	女	不明	国内
8	名古屋市	40歳	女	不明	国内
9	名古屋市	16歳	女	有（追加接種有）	国内
10	春日井	8歳	女	有（追加接種有）	流行有（学校）
11	春日井	8歳	女	有（追加接種有）	流行有（学校）
12	春日井	8歳	男	有（追加接種有）	流行有（学校）
13	春日井	8歳	女	有（追加接種有）	流行有（学校）
14	春日井	8歳	男	有（追加接種有）	流行有（学校）
15	津島	4歳	女	有（1回）	不明
16	江南	14歳	女	有（追加接種有）	国内
17	江南	15歳	男	有（追加接種有）	国内
18	江南	6歳	女	有（追加接種有）	国内
19	衣浦東部	7歳	男	有（追加接種有）	国内

● 風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	17歳	女	不明	国内
2	名古屋市	66歳	男	不明	国内
3	名古屋市	51歳	男	不明	国内
4	名古屋市	31歳	男	不明	国内
5	名古屋市	20歳	女	有	国内
6	名古屋市	40歳	女	不明	国内
7	名古屋市	18歳	女	無	国内
8	岡崎市	34歳	男	不明	不明
9	岡崎市	44歳	女	不明	国内
10	豊川	40歳	男	不明	国内

● 麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	23歳	女	有	不明

2018年9月報

(2018年10月17日現在、診断週に基づく集計)

9月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2017～2018年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2018年9月			2018年	2017年
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7) 結核	92 (34)	46 (12)	138 (46)	1,153 (328)	1,533 (433)
三類 (5) コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
細菌性赤痢	1 (0)	1 (0)	2 (0)	5 (0)	13 (2)
腸管出血性大腸菌感染症	16 (6)	3 (0)	19 (6)	117 (35)	178 (42)
腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
パラチフス	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)
四類 (44) E型肝炎	0	0	0	5	6
A型肝炎	1	6	7	29	17
エキノкокクス症	0	0	0	0	1
オウム病	0	0	0	0	3
コクシジオイデス症	0	0	0	0	1
チクングニア熱	0	0	0	1	1
つつが虫病	0	0	0	1	4
デング熱	4	0	4	14	23
日本紅斑熱	0	1	1	1	0
ブルセラ症	0	0	0	0	1
マラリア	1	0	1	2	1
類鼻疽	0	0	0	1	0
レジオネラ症	16	5	21	120	102
レプトスピラ症	1	0	1	1	0
五類 (24) アメーバ赤痢	2	0	2	35	57
ウイルス性肝炎	0	0	0	3	10
内訳 B型	0	0	0	2	9
その他	0	0	0	1	1
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	10	8	18	108	117
急性弛緩性麻痺** (急性灰白髄炎を除く。)	0	3	3	4	-
急性脳炎	2	1	3	27	43
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	3	11
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	3	35	37
後天性免疫不全症候群	0	6	6	77	72
内訳 無症候性キャリア	0	6	6	56	40
AIDS	0	0	0	18	29
その他	0	0	0	3	3
ジアルジア症	0	0	0	1	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	0	3	26	35
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	1	1	3	3
侵襲性肺炎球菌感染症	6	1	7	146	208
水痘(入院例に限る。)	0	0	0	19	20
梅毒	12	26	38	340	344
内訳 無症候	3	12	15	88	108
早期顕症	9	14	23	243	225
晚期顕症	0	0	0	9	10
先天梅毒	0	0	0	0	1
播種性クリプトкокクス症	0	1	1	15	12
破傷風	0	2	2	4	11
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	1	1	2	0
百日咳*	41	12	53	259	-
風しん	22	18	40	56	3
麻しん	3	1	4	31	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	1
総計	236	145	381	2,645	2,872

* 2018年1月1日に「百日咳」が五類感染症(全数把握)に追加されました。

** 2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2018年9月			2018年 累計		2017年 総計		
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体		
					愛知県全体	合計	愛知県全体	合計	
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	26	46	72	640	1,139	909	1,586
		女	38	17	55	499		677	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	6	11	17	180	440	223	536
		女	17	15	32	260		313	
	尖圭コンジローマ	男	2	14	16	156	238	211	307
		女	7	2	9	82		96	
淋菌感染症	男	14	42	56	397	456	462	528	
	女	0	2	2	59		66		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		70	2	72	707		1,001	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		14	0	14	94		154	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2		3	

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2018年9月			2018年 累計		2017年 総計	
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
エキノコックス症の犬	0	0	0	3		0	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2018年5月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症* (48疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2018年1月1日に「百日咳」は定点把握疾患から全数把握疾患に変更されました。

2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

